



提案団体名： ANAホールディングス株式会社 (複数団体による提案も可とします)

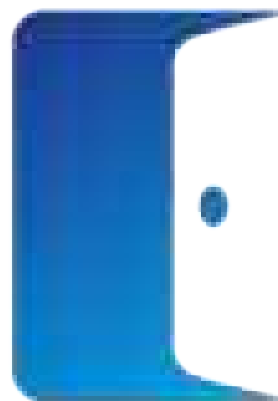
○提案内容

| (1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等 | 技術の分野 |
|---|---|
| <p>ANAは、2018-2022年度グループ中期経営戦略において、Society 5.0(超スマート社会)の実現に向けた取り組みの1つとして掲げた「AVATAR(アバター)」事業を始動させるにあたり、『ANA AVATAR VISION』を策定しました。アバターの基礎技術を集約・発展させ、アバターで人々を繋ぎ、世界をより良くすべくイノベーションを加速させていくことを目的としています。</p> <p>アバターの柱は以下の3つを掲げ取り組みを進めております。</p> <p>①高性能アバターのプロトタイプ開発を競うANA主催の賞金総額10億円国際賞金レースを主催。世界81か国、820チームが参加表明しております。</p> <p>②アバター技術を用いた宇宙開発も実施。35組織がコンソーシアムに参加し、今年の5月に国際宇宙ステーションに打ち上げ予定。</p> <p>③自治体やデベロッパーなどの18の初期社会実装パートナーと日常生活の中でアバターが社会インフラとして利活用される街づくりをスタート。</p> <p>また、昨年10月に様々な理由で飛行機に乗れない方にも移動の自由を提供したいと思いアバターロボット newme(ニューミー)をANAホールディングスが独自で開発しました。ニューミーを活用することにより、その場に行かなくても市内の百貨店を歩きまわりショッピング体験やミュージアムを見学することも、離れた場所に住んでいる家族に会いに行ったりと、さまざまなエンタメ、教育、ヘルスケアなど様々な可能性が広がっていきます。また災害の現場における救助や、医師不足が深刻化した島内での医療相談、また教育面においても島外の生徒との交流の機会の提供なども可能になります。</p> <p>島内の日常生活のさまざまなシーンの中でアバターが社会インフラとして利活用される街づくりを行い、島の生活において課題となっていることをアバターで課題解決に繋がると思われます。</p>  | <p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通・モビリティ エネルギー 物流 防災 観光 教育 健康・医療 環境 産業 担い手確保 人材育成 その他 |
| <p>(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ</p> <p>以下4つの課題解決をご提案いたします。</p> <p>①医療サポート(救急医療体制や夜間診療が不十分である課題を解決)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師、栄養士、介護士によるアドバイス(処方箋以外)やスポーツトレーナーによる健康増進のアドバイスも可能。 ・夜間の急病発生の際に専門医が遠隔で診療のアドバイスを実施出来るようになります。 <p>②教育(複式学級になっており、島外の児童との交流が必要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の学校のニューミーに入ることで合同で授業を受けることができ、生徒同士の交流も可能。 ・優秀な教師が島内で授業を行うことが可能になり、島外の博物館や美術館を遠隔で見学することが出来ます。 <p>③見守り、防災、減災対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の家に震災時に自治体の方が入り建物の状況を遠隔で見て的確な指示を出すことが可能。 ・離れて過ごしなかなかコミュニケーションを取れない家族が島内の高齢者の家に入って見守りすることが出来ます。 <p>④ライフスタイルと雇用機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小売店のバイヤーがお年寄りの方の家のアバターに入り、遠隔で必要なものを購入したりライフスタイルの提案ができます。また、ニューミーのメンテナンスや部品修理サポート等により若者の雇用機会の創出にも繋がります。  <p>アクアリウム 病院・医 学校・教育 ショッピング</p> | |
| <p>(3) その他</p> | |

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。
 ※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。
 ※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

| 部局名 | 担当者 | 連絡先(電話) | 連絡先(メール) |
|------------------------|-------|---------------|----------------------|
| ANAホールディングス アバター準備室 | 松尾 美奈 | 070-4926-1794 | m.matsuo@anahd.co.jp |



ANA AVATAR

アバターインフラ構想

ANAホールディングス アバター準備室



Vision

あらゆる制限を超えて人々を繋ぎ、より良い世界を

エアラインで繋がられる人は、世界人口のたった6%。
世界中の人々を繋げるために、これまでの概念を超えて、新たな移動手段を創造。

ANA AVATARとは、距離、場所、身体、文化、時間、あらゆる制限を超える移動手段。
ロボティクスや物を触ったときの感覚を疑似的に伝える技術を用い、
離れた場所にあるアバターを遠隔操作して、あたかもそこに自分自身が存在しているかの
ようにコミュニケーションや作業を行うことが可能になる。

アバターとは、 ANAが社会課題解決のために考えたロボティクス、人工知能、VR、通信、触覚技術などの先端技術を集結し、遠隔地に置かれたロボットに意識・技能・存在感を伝送させ、人類の移動の限界および身体的な限界を超える**次世代モビリティ×人間拡張 テクノロジー**である。



物理的距離と 身体的限界を ゼロにする



エアラインのユーザー数 = 世界人口の約6%

「6%の壁」



①時間



②コスト



③身体



④インフラ

解決策は 「瞬間移動」



瞬間移動を「AVATAR（アバター）」を用いて実現

① 国際賞金レース 2018年3月スタート

賞金総額10億円 高性能アバター開発レース
世界81か国、820チームが参加表明

高性能アバター開発



② 宇宙開発 2018年9月スタート

アバター技術を用いた宇宙開発
35組織がコンソーシアムに参加
今年の5月に国際宇宙ステーションに打ち上げ予定

高性能アバター開発



③ 社会インフラ 2019年10月スタート

自治体やデベロッパーなどの18の社会実装パートナー
日常生活の中でアバターが社会インフラとして
利活用される街づくりをスタート

社会実装



CEATEC 2019
Society 5.0 賞 受賞



10億円国際賞金レース 「XPRIZE」

高性能アバターを開発する
国際賞金レース主催
世界81カ国、
820チームが参加表明



宇宙開発プログラム 「AVATARX」

アバター技術を用いた宇宙開発プログラム
35社がコンソーシアムに参画
2020年より宇宙空間での検証を
開始する予定



攻めのIT銘柄2019

最も「デジタル時代を先導する企業」
として経産省主催「DXグランプリ」受賞



内閣府 平成30年度近未来技術社会実装事業

内閣府「平成30年度近未来技術等社会実装事業」に採択



世界経済フォーラムが今後急成長するトップ技術に選定

ダボス会議を主催する世界経済フォーラムが
今後急成長する技術に選定
アバターがスマホと同様なスケールをすると予測



内閣府ムーンショット型研究開発制度にテーマが選定

内閣府主催5年1000億円のムーン
ショット型研究開発制度のテーマに
選定（1800案件中Top1に選定）

「大胆で挑戦的な研究」政府、後押しする6目標を策定へ

1/22(水) 12:57配信



認知症やがんを予防し、分身ロボットが離れた場所で作業する。政府が大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を後押しする「ムーンショット型研究開発制度」の全容が21日、わかった。令和3(2021)年までに達成すべき6つの目標を設定し、今後5年間で計約1150億円を投じる。世界共通の課題に対応可能な先端技術の開発を急ぎ、国際競争力を高める。

6つの目標は、23日の総合科学技術・イノベーション会議(議長・安倍晋三首相)で決定する。10年後の令和12年までにそれぞれの分野で中核技術を開発し、32年までの実用化を目指す。政府は分野ごとに研究者を公募し、早ければ今年6月に研究に着手する。

政府が決める6つの目標は(1)身体や空間、時間の制約から解放(2)超早期の疾患の予防(3)人と共生するロボット(4)地球環境再生に向けた資源循環(5)生物機能による食料生産(6)多用途量子コンピューターの実現。

具体的には、分身ロボット(アバター)の遠隔操作技術を極め、人が場所の制約を超えて活動できるようにする。肉体と機械を融合させたサイボーグ技術も活用し、高齢などで低下した身体能力を補充する。

また、脳や腸といった臓器の連携が高れると、がんや認知症につながるとの指摘があることから、臓器同士のネットワークの仕組みを解析し、疾患の予防や発症メカニズムを解明する。

人間と一緒に行動しても9割以上が違和感を持たない人工知能(AI)ロボットの開発や、災害時の人命救助から復興までを自律的に行うAIロボットシステムの構築も狙う。

ムーンショット型は、宇宙飛行士を月面に送り込んだ米国の「アポロ計画」にもなだん名称。昨年7月に内閣府の有識者会議で25の原案が示されていた。

アバターテーマ概要 (内閣府資料抜粋)

資料1

<ムーンショット目標1(案)>

2050年までに、調和のとれたエンパワメントにより人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現

【多様性を内包した社会のためのサイバネティック・アバター・キャピタリズム】

- 2050年までに、複数の人が遠隔操作する多数のアバターとロボットの組み合わせを使用して、大規模で複雑なタスクを実行するための技術とインフラストラクチャを開発する。
- 2030年までに、1人で10体以上のシングルタスク・アバター(シェアード・アバター)を、1体のときと同等の速度、精度で操作できる技術を開発する。

【サイバネティック・アバター・ライフ】

- 2050年までに、望む人は誰でも、選んだ領域の最高の専門家のレベルに、身体的能力、認知能力、および知覚能力を拡張できる技術を開発する。
- 2030年までに、望む人は誰でも、エンパワメントデバイスを使用して、身体的能力と知覚能力を強化できる技術を開発する。

—【参考】—



ANA独自開発
10月14日リリース



newme

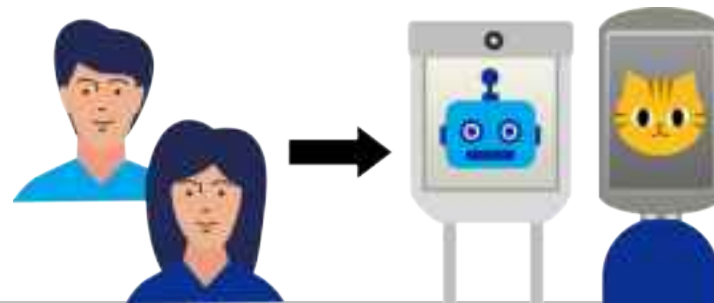
① どこにでも行くことができる

距離や場所、時間、年齢や身体的な制約にとらわれず、アバターの瞬間移動で人々と繋がることができる。



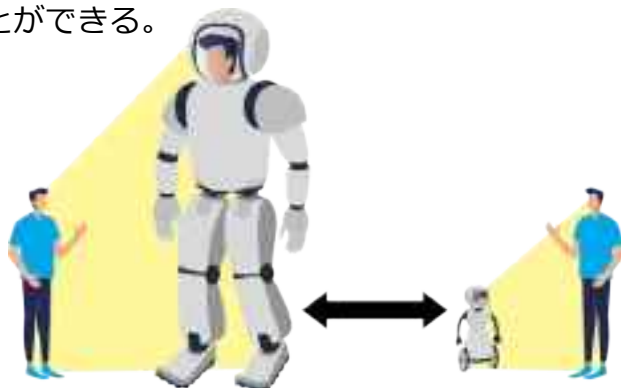
② 外見を変えることができる

顔出しをしたくないなどのプライバシーに配慮し、アバターで外見を変えコミュニケーションをやすくすることができる。



③ 大きさを変えることができる

身体を小さくしたり、大きくしたりすることができ、医療や研究、教育やエンタメなど用途に合わせて活用することができる。



④ まわりの環境を変えることができる

アバターで空間自体を瞬間移動しまわりの環境を変えることで、自分らしいライフスタイルを送ることができる。



⑤ARで情報を表示する

視覚からの情報に被せて、ARで詳細・補足情報を表示させることができる。



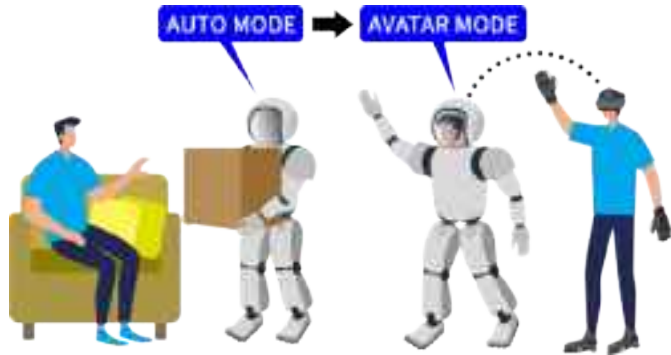
⑥VRの世界に入ることができる

視覚、聴覚、触覚を伴い、リアルな世界からバーチャルな世界へ行くことができる。



⑦モードを切り替えることができる

アバターイン（ログイン）でアバターロボットの全自動モードとアバターモードを切り替えることができる。



⑧多種ソフトウェアとの連携

体調管理など、研究所が開発しているライフサイエンス系のソフトウェアとアバターを連携することができる。



⑨ すぐに行けない場所での救助活動

山岳地帯や途上国など、すぐに行けない場所や通信環境が悪い場所でも、アバターで遠隔救助活動を行うことができる。



途上国での手術



機内での診察



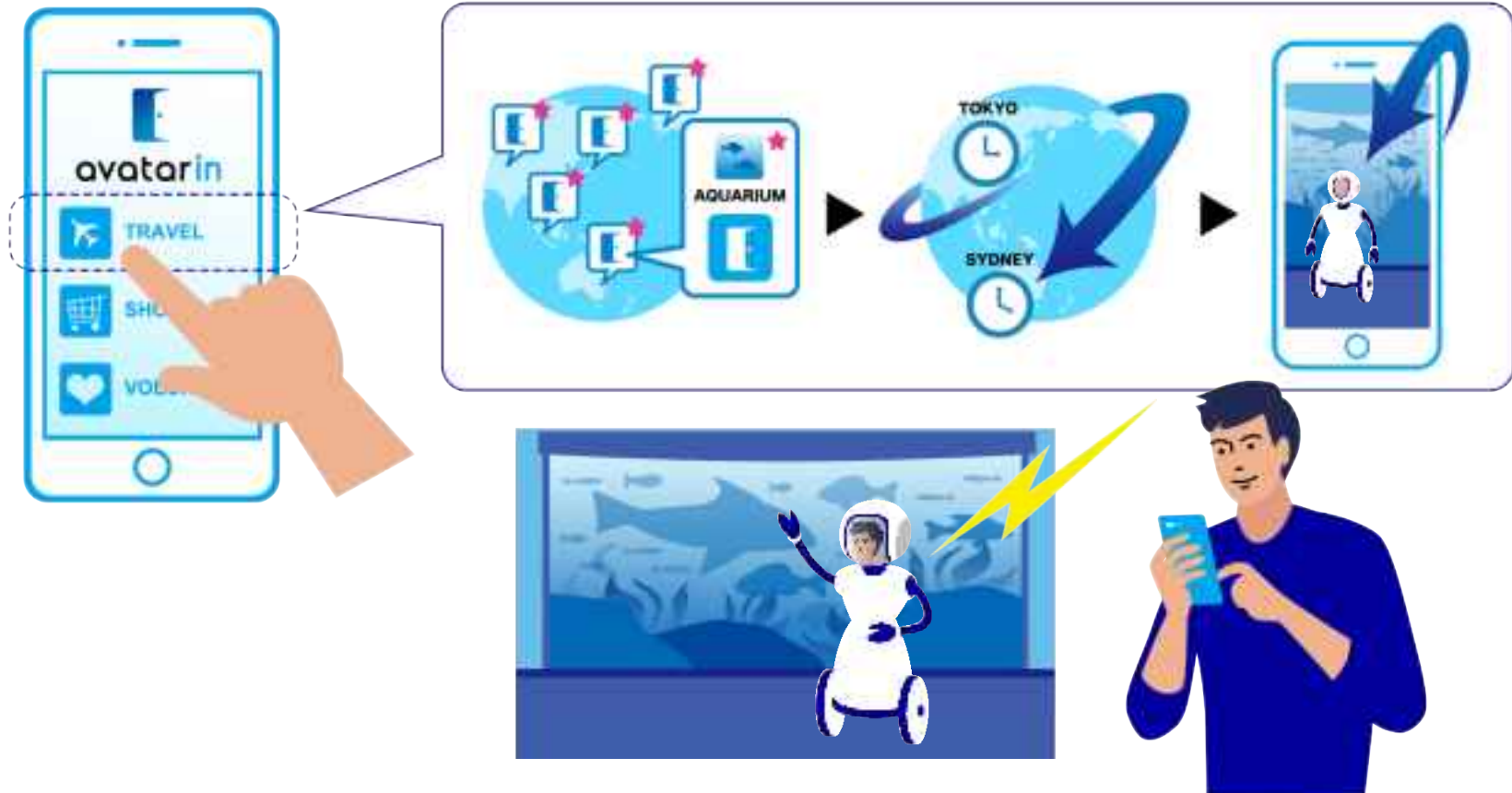
山岳地帯での救助活動



アバタープラットフォーム「avatar-in (アバターイン)」

遠隔で人々を繋げる新たな体験を提供するほか、必要とされる人や技術を必要とする場所に届け、**アバター体験の様々なサービスを提供。**

1つの専用アプリケーションから、行きたい場所、やりたいことを選んでさまざまなアバターにアバターイン (ログイン) する





サービス化「avatar-in」

アバターサービス化に向けた既存技術を用いたサービス実証



国際賞金レース「XPRIZE」

ANA AVATAR XPRIZEに世界74カ国、570チームが参加表明



宇宙開発「AVATARX」

アバター技術を用いた宇宙開発



攻めのIT銘柄2019

最も「デジタル時代を先導する企業」として「DXグランプリ」に選定



内閣府 平成30年度近未来技術社会実装事業

アバター技術実証フィールド「AVATAR X Lab@OITA」が内閣府「平成30年度近未来技術等社会実装事業」に採択

✓ できない移動を無くす

どんな人もアバターで訪れることができる、究極のダイバーシティに対応

✓ したくない移動を無くす

通勤や出張などの移動によるストレスを無くし、効率的に行動することができる

✓ 世界中の人と場所を繋ぐ

アバターを通じて、世界中の人々がビジネスやコミュニティで繋がることことができる





アバターユースケース



ビジネス・会議

アバター活用により、通勤や出張など、ビジネスシーンにおける移動を無くし、業務効率を向上。リモートワークなどのワークスタイルの選択を可能に。24時間、世界中のあらゆる場所から会議に参加できるなど、距離や時間の制限を超えて、グローバルなビジネスを展開することができる。



学校・教育

一拠点から複数の学校で教えるなど、教師のリソースを有効活用することができる。また病気などの理由により学校に通えない子供がアバターを介して、病室から通学することができる。セミナーでは、遠方にいる専門家や著名人をアバター講師として、講座の時間だけ呼ぶこともできる。



病院・医療

入院患者の家族とのコミュニケーションや遠方からの見舞客にアバターを活用。感染症予防などの理由で病室に入ることができない患者の見舞にも活用することができる。将来的にはアバターによる専門医の遠隔診察や遠隔手術も可能になる。



ショッピング

アバターによる新しいショッピング体験を提供。国内外からの集客を促進したり、百貨店などの店舗のコンシェルジュサービスに役立てることができる。



ミュージアム

美術館や水族館など、アバターによる新しいミュージアム観覧サービスを提供。国内外から集客に繋げることができる。スタッフ不在でも、ナイトミュージアムなどの夜間営業が可能となり、新たな収益化を見込むことができる。



受付・案内所

ホテルフロントやインフォメーションセンターなどで、アバターによる接客を実施。受付やエリア情報の提供のほか、通訳（多言語対応）や手話など、接客の状況に合わせてスキル人材が案内を行う。インバウンド対策にも活用。



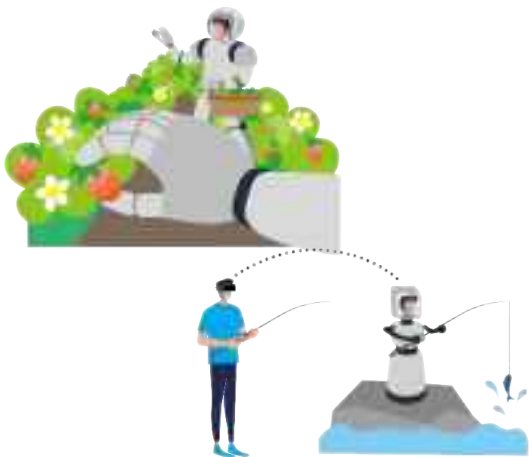
ウエディング

ホテルのウエディングで、遠方や高齢などの理由で、結婚式に出席できない方がアバターで参加ができるサービスを提供。結婚式のサプライズ演出など、ウエディングプランのオプションサービスとして展開。



観光

エリアの観光事業にアバターを活用。新しい旅行体験で国内外から集客を促進する。数年後には、二足歩行アバターによる屋外での旅行体験も可能となる。



農業・釣り（エンタメサービス）

手の感覚がリアルに伝わるアバターの力触覚機能を活用して、遠隔での農業体験（摘み取り）や釣り体験などのエンタメサービスを提供。摘み取った野菜・果物や釣った魚は、産地直送で翌日に体験者に配送される。



スポーツ

アバターで公園の散歩やジョギングなどのスポーツを楽しむことができる。世界中の人々がアバターを介してスポーツ体験を楽しみ、交流することが可能。



警備

夜間警備や危険地帯での警備をアバターで行う。数年後には、屋内警備だけではなく、二足歩行アバターによる屋外警備も可能となる。警備員の労働環境改善にも繋がる。



駐車場整備

アバターで駐車場の整備を実施。雨や暑さなどの季節の天候に左右されずに、整備員が快適に安全に作業を行うことができる。労働環境改善に繋がる。



家庭利用

単身赴任の父親や一人暮らしのシニアなど、家族と離れて暮らしている人がアバターを通じて遠方の家族とコミュニケーションをとることができる。将来的には、家庭教師や趣味のレッスンなど、家庭用アバターで個人教授を呼ぶこともできる。



保育園・幼稚園・託児所

預けた子供の様子を、子供の両親や家族がアバターで確認することができるサービス。入園前の施設見学にも活用。



就労支援

就労支援にアバターを活用。障がいや病気などの身体的制約にかかわらずあらゆる人が働くことができる社会を構築。また育休中の就労やシニア雇用などでもアバターを活用。ダイバーシティ&インクルージョンに対応。



報道関係者各位



2019年11月27日
ANAホールディングス株式会社
三井不動産株式会社

ANAホールディングスと三井不動産が 日本橋エリアを舞台にアバターの都市実装共同事業を開始

- 日本橋エリアに普及型コミュニケーションアバター「newme(ニューミー)」を2020年度100体投入
- ANAHDはアバターの社会インフラ実装の一環として推進
- 三井不動産は「日本橋再生計画第3ステージ」で掲げた新たな産業の創造に繋がるプロジェクトとして位置づけ



ANAホールディングス株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:片野野 真樹、以下「ANAHD」)と三井不動産株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:塩田 正徳、以下「三井不動産」)は、日本橋エリアにおけるアバター(※1)の都市実装共同事業を本年12月より開始します。

本事業は、ANAHDが推進するアバターの社会インフラ化を、オフィス・商業・住宅・MICEなど様々な都市機能が集積する日本橋エリアにおける多様なユースケースの創出を通じて加速するものです。

ANAHDは、独自開発した普及型コミュニケーションアバター「newme(ニューミー)」とアバターサービスを提供するためのプラットフォーム「avatar-in(アバターイン)」(URL: <https://avatarin.com/>)や、アバター導入に関する知見の提供を、三井不動産は、日本橋エリアにおける場のほか、三井不動産グループの幅広いバリューチェーンを活かした導入機会の提供を行います。

両社は協働してアバターの都市実装を推進し、2020年内を目標に、日本橋エリアにおいてアバター100体の投入を目指します。



普及型コミュニケーションアバター
「newme(ニューミー)」

<導入事例>

■ショッピング

本事業の第一号プロジェクトとして、本年12月より、日本橋エリアにおいて「newme」での買い物体験が可能となるショップを期間限定でオープンします。遠隔地において日本橋まで足を運ばない時や、家から出られない時などでも、アバターを通じた接客によるショッピングが可能になります。



「newme」導入イメージ

■オフィス・カンファレンス

ビジネスシーンにおいては、アバターを使った遠隔地とのコミュニケーションやカンファレンスの参加などの活用を推進していきます。カンファレンス等において、多様な講演者が遠隔地から参加したり、参加者は日本橋に足を運ばなくともワークショップに参加したりといったことが可能になります。

2020年3月より、宇宙ビジネスのプレイヤーが集まり、交流する拠点「宇宙ビジネス拠点 X-MEHOHBIASHI」において、「newme」を複数台稼働開始、ビジネスコミュニケーションの活性化を図ると同時に、他のオフィスやインバケーション拠点、カンファレンス施設への設置も推進します。



「newme」導入イメージ



■エンターテインメント

都市で展開される様々なエンターテインメントにおいて、アバターを導入していきます。本年12月より、都内複数店舗におけるプロジェクションマッピングを、日本橋エリアからアバターを操作して楽しむ体験の実証を経て、2020年1月より日本橋で期間限定の五感で楽しむ花の体感型アート展「FLOWERS BY NAKED 2020-桜-」では、パソコンからアバターを通じた接客が可能になる仕掛けや、リアルとデジタルが融合した演出の検討を推進していきます。



COREDO室町3階ポップアップストア：12/3火～12/24火 ※12/3～6ビジネスデー



- 現段階では実証実験だが、将来一般化する技術としての可能性は大。
- 体験客からは、未来の取組として高評価。（操作簡単、海外・高齢者・妊婦にとって便利など）
- 予約客は購買決定率50%程度で高い。（オンラインショッピングの平均購入率は1%未満）

【お客さまコメント抜粋】

「専門知識が必要な商品を買う際に相談しながら買えるのが良い」

「自分のすっぴんが他人に見られるから気軽にできない」

「匂いが分かると良い」

「キーボードじゃなく音声操作になると高齢者でも使えるのでは」

「面白い。ありそうでなかった。親にも使ってほしい」

「写真だけではわからないサイズ感、素材感がわかる」

「妊娠中のためショッピングにいけませんがアバターなら安心」

「普段、楽天を使うが問い合わせに時間がかかる。」



報道関係者各位



共同リリース



2020年2月7日
ANAホールディングス株式会社
三井不動産株式会社
株式会社ネイクド

アバターで体感型アート展覧会のサービス実証を実施
～avatar-in museumの初事例～

- ・「FLOWERS BY NAKED 2020 一花一」をnewmeを通じて鑑賞
- ・avatar-in museumのサービス実証
- ・ANAHD、三井不動産、NAKEDが推進する、エンターテインメント領域のアバター都市実証事業



ANAホールディングス株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:片野新 真哉、以下「ANAHD」)は、三井不動産株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:吉田 正信、以下「三井不動産」)が運営する日本橋三井ホールにて現在開催されている株式会社ネイクド(所在地:東京都渋谷区、代表取締役:村松 高太郎、以下「NAKED」)が企画・演出・制作を務める五感で楽しむ花の体感型アート展「FLOWERS BY NAKED 2020 一花一」(※1)を、ANAHDが独自開発したアバター「newme(ニューミー)」(※2)を通じて鑑賞する実証を行います。

本実証は、NAKEDと三井不動産が日本橋エリアの活性化を目標に掲げながら2019年より毎年開催している「FLOWERS BY NAKED」の会場内にて、開催期間のうち本年2月17日から2月26日までの期間、ANAHDのアバターサービスを提供するためのプラットフォーム「avatar-in(アバターイン)」を通じてnewmeにアクセスし、「FLOWERS BY NAKED 2020 一花一」の一花エリアを鑑賞するサービス実証であり、「avatar-in museum」の初事例となります。また、都市で展開される様々なエンターテインメントにアバターを導入することを目指しているANAHDと三井不動産が2019年12月から推進している日本橋エリアにおけるアバターの都市実証共同事業(※3)の一環として行うもので、2020年内を目処に日本橋エリアにアバター100様の投入を目指しています。

ANAHDとNAKEDは、今後、Society5.0(超スマート社会)の実現に向けた、アバターの社会インフラ実証の一環として推進し、バーチャル体験の拡張により、NAKEDが演出を手がける全国各地のイベントや施設を中心に、様々な枠を超えた先進エンターテインメントの実証に取り組んでいきます。

●サービス実証概要

- ・ 期間: 2020年2月17日(月)～2月26日(金) 17:00～20:00
※「FLOWERS BY NAKED 2020 一花一」は3月1日(日)までの10:00～20:00で開催
- ・ 鑑賞エリア: Plan 春の始まり Prologue～Dandelion Hill
Play 日本一早いお花見! OUSAI Garden

CONTENTS MAP



～用語・補足説明～

- ※1 アーティスト 村松高太郎(クリエイティブカンパニーNAKED Inc. 代表)が総合演出を手がける、生花、オブジェ、映像、インタラクティブ、音り、音楽など、様々な演出を通して、五感で楽しむ花の体感型アート展。
URL: <https://flowers.naked.works/2020naked/>
- ※2 VR、ロボティクス、センサー、ハプティクス(触覚)等、最先端のテクノロジーを用いて、異なる複数の視点に設置した遠隔アバターロボットに接続し、あたかも自分が存在し、物理的に物を動かしたり触ったりできるテクノロジー。
URL: <https://avatarin.com/>
- ※3 2019年11月27日のプレスリリース参照
URL: <https://www.anahd.co.jp/press/pr/201911/20191127stori/>

以上

本日、この資料は、次の記者クラブに配布しています。
○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会 ○都庁記者クラブ

<報道関係者お問い合わせ先>

ANAホールディングス株式会社 広報・コーポレートブランド推進部 03-6736-1111
三井不動産株式会社 広報部 03-3246-3155
株式会社ネイクド PR事務局担当 漢口070-3339-9622 / 荒玉ノ原店 Tel:03-6894-3200 / Mail: NAKED@naked.jp

<リリース画像のダウンロードサイト>

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/press/>

— FLOWERS BY NAKED 開催概要 —



イベント名 FLOWERS BY NAKED 2020 一揮一

期 間 2020年1月30日(木)～3月1日(日)
 ※サービス実施は、2020年2月17日(月)～2月28日(金) 17:00～20:00

開催時間 10:00～20:00 ※入場は開場の30分前まで
 ※営業時間に変更になる場合がございます。

開催場所 日本橋三井ホール OORIDO 室階1 5F(エントランスは4F)

入 場 料 全て税込み価格

【出展費】
 大人 / 1,800円(平日)、2,200円(土日祝)、小人 / 1,200円(全日) ※未就学児は無料
 ※その他お得なチケットもご用意しています。詳しくは公式サイトをご覧ください。

特別協力 1.111はな草月堂、KIEHL'S SPACE 1851、三井不動産株式会社、JA熊本経済連、
 富士フィルム株式会社、アットアロワ株式会社、キヤノン株式会社

協 力 株式会社東洋堂、株式会社千波、キスソニックス株式会社(3Dサウンド)、熊本県花き協会、
 熊本県花き研究会、JAグループくまもと花き部会、JA全農山形、岩田谷花き、
 青一園産株式会社、日本橋室町野村ビル YUJITO、野村不動産株式会社、Forever、
 BEST FLOWER ARRANGEMENT、マイブツ、MAGIQ、和村工業株式会社、
 松山市、Miwaka(RIDGETIGUE)、横浜ディスプレイミュージアム
 三井不動産商業マネジメント株式会社
 (コレド室町1～3、コレド室町テラス、コレド日本橋、日本橋三井タワー)

後 援 日本橋

主 催 FLOWERS BY NAKED 製作委員会

お問い合わせ 03-6380-9102 ※受付時間 10:00～20:00

公式サイト <https://flowers.nakedworks.jp/0000theticket/>

企画・演出・制作 NAKED inc.

沖縄県がANA初期アバター社会インフラ実装パートナーへ参画

2019年11月15日の定例記者会見で、玉城デニー知事はANAのサービス「アバターイン」の導入を進めていくと発表。沖縄を先端社会技術の社会実装の場として実証フィールドの提供を行う。



アバター活用の目的

- 県内産業の生産性向上
- 先端社会技術の社会実装
- イノベーション新ビジネス創出

- ☑ 新しい観光体験
- ☑ 離島の教育支援
- ☑ 沖縄県の社会課題解決

今後の予定

- 2020年2月5日、6日のリゾテックおきなわIT見本市にANAアバターが出展
- 沖縄県庁とアバターの来年度施策を検討中
- 浦添市長と浦添市のアバター活用について協議



共同リリース



2021年12月1日
日本バスケットボール協会・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ
B.LEAGUEバックヤードツアー実証発表会

Avatarでのスポーツコーチングやバックヤードツアーを実施

—各選手ファンクラブにAvatarを配信し体験を共有—

Avatarを用いた遠隔地からのスポーツコーチングの実証
 本発表会では、Avatarを用いたスポーツコーチングの実証
 本発表会では、Avatarを用いたスポーツコーチングの実証



本発表会では、Avatarを用いた遠隔地からのスポーツコーチングの実証
 本発表会では、Avatarを用いたスポーツコーチングの実証

この発表では、Avatarを用いた遠隔地からのスポーツコーチングの実証
 本発表会では、Avatarを用いたスポーツコーチングの実証

●Avatarを用いたスポーツコーチングの実証
 本発表会では、Avatarを用いたスポーツコーチングの実証

●Avatarを用いたバックヤードツアーの実証
 本発表会では、Avatarを用いたバックヤードツアーの実証

●Avatarを用いたバックヤードツアーの実証
 本発表会では、Avatarを用いたバックヤードツアーの実証

●Avatarを用いたバックヤードツアーの実証
 本発表会では、Avatarを用いたバックヤードツアーの実証



ANA HOLDINGS NEWS



第19-057号
2020年2月4日

大分県離島の小中学生が東京国立博物館に瞬間移動！

- ・大分県離島の小中学生が小中学校から遠隔でアバターを操作することにより東京国立博物館を見学
- ・学芸員がアバターにより遠隔で離島の小中学生に国宝を解説

ANAホールディングス株式会社は、大分県、大分県教育委員会、大分県離島村、姫島村教育委員会、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、公益財団法人大分県歴史文化スポーツ振興財団、大分県立美術館とともに普及型アバターロボット「newme（ニューミー）」を活用した遠隔での社会見学実証を実施します。

ANAHDは、学校や教育機関と連携し、引き続きアバターによる教育体験を拡充していきます。アバターが、社会インフラとして活用されることを目指し、自治体や教育機関、アバターなどとともに教育や観光、ショッピングなどさまざまな分野で検証を続けています。

■社会見学授業の概要

内容：①生徒、児童が、東京国立博物館に設置されたアバターを学校からパソコンで操作し、アバターロボットnewmeを通してリアルタイムで教育を受け、学芸員からの解説を受けます。

②見学後、生徒、児童は遠隔で国宝「板蓋銅罎（板蓋は特約 罎）」の複製複製品（原本：東京国立博物館蔵）を所収で鑑賞します。文化財活用センターの講師がnewmeを用いて説明とワークショップを行います。

日時・場所等

| | 姫島中学校 | 姫島小学校 |
|-----|-------------------------|----------------------|
| 日 期 | 2月12日(木) | 2月18日(水) |
| 対 象 | 姫島中学校 第2学年(11名) | 姫島小学校 第1学年~第3学年(86名) |
| 見学先 | 東京国立博物館(東京都台東区上野公園13-9) | |



以上





利用リリース



2020年2月10日
加賀市
ANAホールディングス株式会社

加賀市とのアバターを活用した窓口行政相談の実証実験の開始

～市民サービスの向上を目指して～

- ANAHDと加賀市のイノベーション推進連携協定に基づき、窓口相談の実証を行う
- 窓口に来た市民とアバターを通じて職員がやり取りを行う
- 職員には使い方に慣れてもらい、市民にはアバターを知ってもらうことが実証の目的

加賀市（市長：荒石 博）とANAホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：井野里 真哉、以下「ANAHD」とは、2019年5月に結んだイノベーション推進連携協定（※1）に基づき、ANAHDが独自開発した着目型コミュニケーションアバター「Newme（ニューミー）」を活用した、窓口相談の実証実験を行います。

◆実証概要

| 内容 | 日程 | 配置場所 | 操作者 |
|--------------|--|----------------------|--------------------------------------|
| 窓口相談 | ① 2月13日～2月21日 ② 3月1日～3月30日 ③ 3月22日～3月28日 | 本庁窓口 本庁窓口 本庁窓口 | 本庁窓口PCスタッフ職員 本庁市民 本庁窓口PCスタッフ職員 |
| 課内実演 （予定） | ④ 3月1日～3月30日 | ANA実証室 | 市内学生 |

- ①の期間で職員によるアバター操作の様子を公開することで、職員のアバター操作の習熟と、市民のアバターに対する認知度を向上させる。
- ②の期間中に職員と市民にヒアリングを実施し、アバター導入効果について検証を行う。
- ③の期間に市民によるアバター遠隔操作を実施し、それと並行して②の期間には本庁職員によるアバター遠隔操作を実施する。

今後、調査で連携・協力して、アバター活用・ドローン・シェアリングエコノミー等最新の技術やビジネスモデルを地域課題の解決や新たな産業創出に活用するための取り組みを推進していきます。

※1 2019年5月8日「加賀市×ANAホールディングス 新技術・新ビジネスモデルの社会実証実験を開始」参照
<https://www.anahd.co.jp/news/nc/201905/20190509-2.html>

加賀市本庁舎

山中温泉支所

アバター「遠隔」行政窓口

「遠隔」で行政相談が実現するアバター「ニューミー」の導入が、加賀市本庁舎と山中温泉支所で行われる。市民は遠隔で職員とやり取りできる。これは、加賀市とANAホールディングス株式会社が、イノベーション推進連携協定に基づき、ANAHDが独自開発した着目型コミュニケーションアバター「Newme（ニューミー）」を活用した実証実験の一環として行われる。市民はスマートフォンやタブレット端末から、遠隔で職員とやり取りできる。これは、加賀市とANAホールディングス株式会社が、イノベーション推進連携協定に基づき、ANAHDが独自開発した着目型コミュニケーションアバター「Newme（ニューミー）」を活用した実証実験の一環として行われる。

教育現場でも

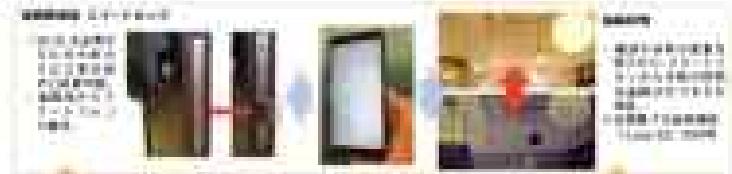
加賀市立山中温泉小学校で、アバター「ニューミー」を活用した教育実証実験が行われる。児童たちは、アバターを通じて、遠隔で職員とやり取りできる。これは、加賀市とANAホールディングス株式会社が、イノベーション推進連携協定に基づき、ANAHDが独自開発した着目型コミュニケーションアバター「Newme（ニューミー）」を活用した実証実験の一環として行われる。

チョコッと持って「詐欺警戒」

小坂署がキャンペーンを行う。市民は、アバターを通じて、遠隔で職員とやり取りできる。これは、加賀市とANAホールディングス株式会社が、イノベーション推進連携協定に基づき、ANAHDが独自開発した着目型コミュニケーションアバター「Newme（ニューミー）」を活用した実証実験の一環として行われる。

以上

丸の内線有明駅出口付近



2020年6月17日

丸の内・外国人向け総合観光案内所JTO TICで「遠隔操作営業の実証実験」を実施

「自然な質問に対応する遠隔操作の対応業務にも対応、自然な接客業務の高度化が実現」

ANAグループが推進する外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」は、丸の内線有明駅出口付近に設置された外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」において、遠隔操作による遠隔操作による接客業務の実証実験を実施し、自然な接客業務の高度化が実現する「遠隔操作営業の実証実験」を実施しました。

遠隔操作による接客業務の実証実験として、丸の内線有明駅出口付近に設置された外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」において、遠隔操作による接客業務の実証実験を実施し、自然な接客業務の高度化が実現する「遠隔操作営業の実証実験」を実施しました。



遠隔操作の実証
 主 題 ANAグループが推進する外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」
 場 所 日本橋有明駅前（JTO TIC）
 日 時 2020年6月17日（木）10時～12時
 実 施 者 ANAグループが推進する外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」
 協 賛 株式会社アバターイン（株式会社アバターイン）
 実 証 内容 遠隔操作による接客業務の実証実験
 実 証 結果 遠隔操作による接客業務の実証実験が成功し、自然な接客業務の高度化が実現する「遠隔操作営業の実証実験」を実施しました。

遠隔操作の実証について
 本実証実験は、ANAグループが推進する外国人向け総合観光案内所「JTO TIC」において、遠隔操作による接客業務の実証実験を実施し、自然な接客業務の高度化が実現する「遠隔操作営業の実証実験」を実施しました。

アバター県おおいたに向けた社会実装の取り組み

観光：うみたまご～東京ビッグサイト



一般家庭等でのモニター募集

教育：県内小学校～OPAM・JAXA

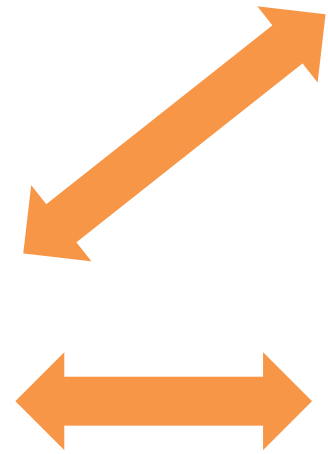
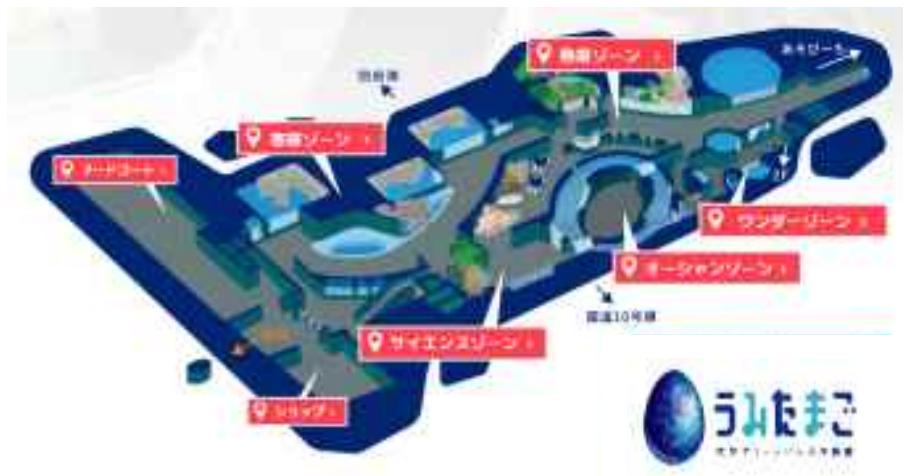


AVATAR FISHING



観光：うみたまご～東京ビッグサイト

- 移動&コミュニケーション型アバター「ビームプロ」を大分県内の水族館「うみたまご」に配置し、東京ビッグサイトで12/5～7にかけて開催された「ドコモオープンハウス2018」の会場、及び大分大学医学部附属病院小児科病棟から遠隔見学する実証実験を実施。
- 「うみたまご」をPRするとともに、入院児童と外部とのコミュニケーションツールとしての可能性をさぐる。



大分大学医学部附属病院
小児科病棟

教育：県内小学校～OPAM・JAXA

- JAXAとANAの協力の下、移動&コミュニケーション型アバター「ビームプロ」をJAXAの筑波宇宙センターと大分県立美術館（大分市）の「海と宙（そら）の未来展」会場に配置。
- 大分市から遠い市の3小学校の児童が、アバターを各小学校から遠隔で操作し、会場内を遠隔で見学する取組を実施。（平成30年10月4、11日）

JAXA筑波宇宙センター H30.10.11



双方向通信

アバター操作

真坂小学校：中津

大分県立美術館「海と宙の未来展」H30.10.4



双方向通信

アバター操作

高瀬小学校：日田



アバター操作

佐伯東小学校：佐伯



一般家庭等でのモニター募集

- 高齢者と遠方に住んでいる家族とのコミュニケーションなど、一定期間、実際に家庭等でアバター「Beam」を利用し、その効果を検証してもらう県民モニターを募集、一般家庭等における新たな用途をさぐる。
- ANAホールディングス株式会社と大分県とで、株式会社NTTドコモ協力のもと実施

大分県内で暮らす老夫婦



アバター「Beam Standard」



県外で暮らす子ども夫婦・孫



(募集期間)

モニター募集期間 5月17日(金) ~ 6月7日(金)
 利用期間 7月1日(月) ~ 7月31日(水)

(応募条件)

アバター配置場所が大分県内であること、通信環境が用意できること 等

AVATAR FISHING (アバター技術を活用した世界初の遠隔釣り体験サービス実現プロジェクト)

- 県内には温泉以外にもくじゅうや豊後水道などの自然、歴史的建造物など豊かな観光資源があるが、観光客が訪れる地域は温泉のある別府市と由布市に集中しており、県南部（津久見市、佐伯市等）をはじめとするその他の地域にいかに回遊させるかは県観光の課題の一つである。また、多くの観光施設では、土日と比べて、平日の稼働率が低調であり、生産性を上げることのできない一因となっている。
- 本プロジェクトでは、県南観光の資源である、「海・魚」に着目し、佐伯市蒲江の釣り堀「釣っちゃ王」において、釣り竿をもった遠隔操作ロボットを設置し、力触覚（ハプティクス）技術や高速通信技術を用いて、遠く離れた東京から釣りを疑似体験できるシステムを開発、実証することにより、大分県の温泉以外の魅力を発信するとともに、観光施設の稼働率の平準化を図る。
- 2019年度、東京－大分間の遠隔での釣りの実証に成功。今後は、遠隔釣り体験サービスを次年度本格的にサービス導入するための機器のブラッシュアップを行う予定。

プロジェクトイメージ



実際の体験の様子 (CEATEC2019展示)



| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>事業実施主体 (コンソーシアム構成員)</p> | <p>(株) ケイティーエス (杵築市)、(株) Re-a-l (神奈川県)、(株) ナゴヤ (佐伯市)、ANAホールディングス(株) (東京都)、(株) シマノ (大阪府)</p> |
|---------------------------------------|---|